

花と緑のネットワーク通信

今年も花と緑のまちづくりフォーラムが開催されます！みなさんお誘い合わせの上ぜひご参加ください！フォーラムへのご参加お申し込みは札幌市コールセンターまで（詳細は同封のチラシをご覧下さい）

さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム 2014 開催！

日時 11月8日(土)12:00 開場

場所 札幌エルプラザ 3階ホール



13:05～13:30
フォーラムコーディネーター
高野文彰さん
「北海道ガーデンのお話」

北海道の庭園文化に詳しく、造園家・ランドスケープアーキテクトとして、国際的に活躍する高野文彰さんに、北海道ガーデンの現在と未来・将来・展望などについてお話しいただきます。



13:30～14:50
基調講演
新谷みどりさん
「十勝千年の森の庭仕事」

世界的に評価が高い「十勝千年の森」のヘッドガーデナーを務める新谷みどりさん。北陸に生まれ、南九州大学で造園を学んだ後、スウェーデンなど国内外で修行されました。「ガーデナーは裏方」というモットーと、北海道ならではの庭づくりに関するさまざまなことを、お話しいただきます。

15:05～15:50

花と緑のボランティア団体活動発表

近年、さまざまな賞を受賞された花と緑のボランティア団体のみなさんが、日頃の活動内容や成果、創意工夫した点などを発表します。また高野さんや新谷さんからもコメントをいただきます。

・札幌市立三角山小学校ボランティア・伏見ガーデニングサークル陽だまり・大学村の森を守る会

12:00～16:00

★活動風景ギャラリー&休憩コーナー ★パネル展示コーナー

「フォーラム会場を素敵にデザインして盛り上げよう！」と、タウンガーデナー有志のみなさんと、7月から準備を重ねてきました。

今年は5周年ということで、みんなの意気込みもさらにパワーアップ！「ステージ上を新谷さんをイメージしてデザインしよう！」という、スケールの大きな取組みに挑戦することになりました。

現在、デザイン画をみてイメージを共有したり、準備する資材などを確認しあったりしながら、さらにリハーサルを行う予定です。創意工夫に満ちたステージ装飾となりそうです！

「フォーラムを盛り上げたい！」という、みんなの熱い気持ちがどんな形で表現されるか、とても楽しみです。



花と緑のボランティア団体活動紹介

緑町公園 花とアジサイの会

私たちは緑豊かな南区真駒内 緑町で花壇づくりをしています

■ 会の発足

南区真駒内にある緑町公園は、花壇がなく樹木がメインの公園でした。公園の近くに暮らすタウンガーデナーの三上米次郎さんは、花が咲き、地域住民の憩いの場となるような公園にしたいという思いから、数回に渡りワークショップを開催。ともに花壇づくりに参加してくれる仲間を募りました。

2013年、公園内には南区土木部の協力のもと、会の名前でもあるアジサイをシンボルフラワーとした素敵な花壇が出来上がりました。今では会員も18名と増え、活動場所が地下鉄真駒内駅から近いこともあり、遠方から通う会員もいます。



8月22日、この日は月に一度の定例会がありました。

花壇のお手入れをしながら、手づくりの名板を付ける植物の確認や、秋に植える宿根草・球根を決めました。色合いや草丈、また春先から秋遅くまで様々な花が咲くように、頭を悩ませながら考えます。

まだ出来立てほやほやの花壇たちですが、地域住民のみなさんと一緒に見守り育てていけると良いですね。これからの活動がますます楽しみです！



会員
募集中

■発足年月／2013年1月

■活動内容／緑町公園での花壇づくり、
植樹ますの植栽やプランター等の設置

■活動頻度／月に1回の定例会、その他随時メンテナンス

■会員数／18名

■代表者／三上米次郎

■連絡先／鈴木のり子

TEL：011-592-2338

グリーンカーテン

斎藤 健二さん（東区タウンガーデナー）



8月25日、東区のご自宅でグリーンカーテンを実践されている斎藤さんを訪ねました。自宅の壁面に張られた網には、ゴーヤ、オカワカメ、ツルムラサキなどが上へ上へと元気よく伸びていました。この生長の秘訣は土にあるという斎藤さん。庭に溶岩が風化した土を入れたところ、肥料もちがあまり良くありませんでした。そこでEM菌（有用微生物）を使った自家製の堆肥をつくり土に混ぜ込んだところ、植物の生長が良くなつたのだそうです。9月に入り、5mまで伸びているというご報告がありました。やはり植物栽培には土が重要なんですね！

涼しげな緑陰をつくるだけではなく、収穫も楽しめるグリーンカーテン。みなさまも挑戦してみてはいかがでしょうか？



百合が原公園職員に
聞いてみました！

秋植え球根を植えるポイント



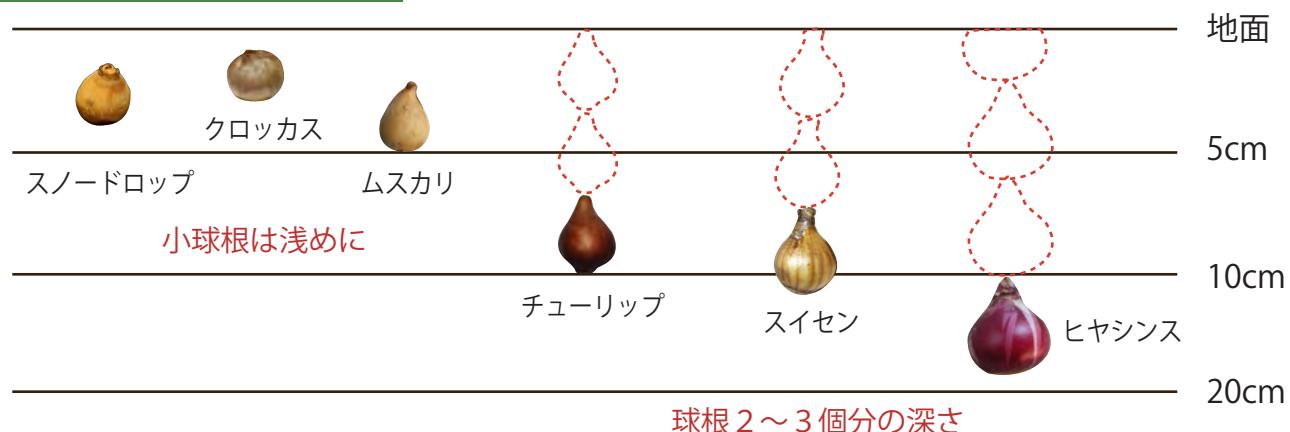
秋植え球根とは？ 秋に植え、一冬を屋外で越冬し、翌春花を咲かせる球根植物です。

植えつけ時期 9月下旬～10月上旬（種類により遅植えのものもあります）

植床の準備 植えつけ日の約1週間前に堆肥を入れてよく耕しておきます。
植えつけ時の元肥は必要ありません。

球根を植える深さの目安

※種類によって植えつける深さに注意しましょう！



topic!

その後のハンギングバスケット



7月のメンテナンスの様子



最後に苗をひとつひとつ外してポットへ

6月に開催した講習会の中で受講者が製作したハンギングバスケットは、「札幌国際芸術祭 2014」を盛り上げるために8月28日まで札幌駅前通に設置され、市民や観光客の目を大いに楽しませてくれました。

7月には講師の指導の下、猛暑の中ひとつひとつ丁寧にメンテナンスを行いました。

その後撤去したハンギングバスケットは解体し、選定した苗は「札幌水源の森づくり 2014」のイベント内にて無償配布しました。

ご協力いただいたタウンガーデナーのみなさん、お疲れ様でした。

見にいこう！緑化空間！



■札幌東武ホテル

中庭や前庭、バルコニーに花を植え込むなど、緑を楽しめる空間を創り出しています。特に中庭の壁面緑化は市内最大級の大きさで圧巻。

(緑化空間開放は10月中旬まで)



■札幌三井JPビルディング

2階「アトリウムテラス」は「新しい感性と出会う、札幌の中庭」がコンセプト。1年を通じて緑を感じられる空間。

札幌市で運用している「さっぽろ都心みどりのまちづくり助成制度」を活用して、

・札幌三井JPビルディング（平成26年度）

住所：中央区北2条西4丁目1番地

・札幌東武ホテル（平成25年度）

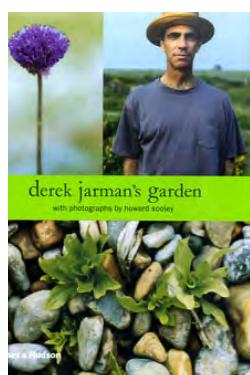
住所：中央区南4条東1丁目

で緑化空間を整備しています。

ぜひ見に行ってみてください！

（札幌東武ホテルの緑化空間開放は10月中旬までとなります。）

読書の秋！花と緑のおすすめBOOK



「derek jarman's garden」

著：デレク・ジャーマン

1994年に亡くなったイギリスの映像作家デレク・ジャーマンの、美しくも不思議な庭の写真集。

晩年、イギリス南部の原子力発電所の危険区域に暮らし、彼はそこに、荒廃と温もりが混沌と入り交じった庭を造りました。

園芸業界だけでなくアート、建築など多方面から絶賛されているのもうなづける内容となっています。



「庭をつくる人」

著：室生犀星

庭造り好きの犀星による詩、随筆、小品、人物評、発句、映画随想などバラエティに富み、また岸田劉生による装幀が豪華な一冊。

犀星の庭に対するこだわり、庭を愛する心が伝わってきます。

後の解説で紹介されている、芥川龍之介と犀星との間の庭づくりの話も楽しめます。

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況 2014年10月1日現在

さっぽろタウンガーデナー (263名)

中央区	47名	北区	47名	東区	31名	白石区	11名
厚別区	24名	豊平区	22名	清田区	10名	南区	27名
西区	16名	手稲区	20名	その他	8名		

花と緑のボランティア団体 (全28団体)

発行・編集 さっぽろ花と緑のネットワーク事務局

札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階

公益財団法人 札幌市公園緑化協会内

TEL: 011-251-3309 FAX: 011-211-2577

E-mail: flowers@sapporo-park.or.jp